

えんまだいおう 閻魔大王との出会い



先日、鎌倉で開運巡りをしてきました。
遡ること3月。自宅でテレビを見ているとフジテレビの『突然ですが占ってもいいですか?』という番組で鎌倉が特集されていました。
園と同じ神奈川県内なので何度も行っていますが、いつも立ち寄る場所は同じでした。しかし、テレビで見る場所はとても魅力的だったので「開運巡りをしてみたい」と思い、足を運びました。
今回はそこで出会った^{えんまだいおう}閻魔大王についてご紹介をします。

えんまだいおう 円応寺での閻魔大王との出会い

開運巡りをしている中でも一番印象に残ったのが円応寺でした。円応寺は今までの過去の過ちを自分で懺悔し自分を見つめ直す場所です。お寺は閻魔堂、十王堂とも呼ばれ、亡者が冥界において出会う「十王」を祀っています。十王とは、亡者が冥界において出会う十人の王のことです。亡者は冥界において七日ごとに七回、さらに百ヶ日、一周忌、三回忌の合計10回、それぞれの王の取り調べを受けます。沢山の王に見られ何か悪い事をしてしまったのではないかと自分で考えて閻魔大王の前で小さな事もすべて言い過去をリセットしました。

開運巡り順路

- ① 七里ガ浜
- ② 鶴岡八幡宮へ続く参道
- ③ 鶴岡八幡宮
- ④ 白旗神社
- ⑤ 円応寺（過去をリセット）
- ⑥ 長谷寺（決意表明）
- ⑦ 高德寺（願い事）
- ⑧ 力餅屋のあんころ餅を食べる

興味があれば
是非回ってみてください♪

えんまだいおう 閻魔大王の役割

自分が幼い頃よく親に『嘘をついたら閻魔大王に舌を抜かれるよ!』と言われていました。この言葉は幼い頃から馴染みのある言葉になっていました。きっとさまざまな場面でこの言葉を使う人もいるかと思えます。幼いながら私も『舌を取られるのは嫌だ!』と思い悪いおこないをしないように心がけて来たと思えます。そんな幼い頃からの固定観念で“閻魔大王=怖い”と思っていましたが、円応寺の説明にはこのように書いてありました。

★全ての存在するものは、存在するというだけで意味のあるもの。

★もし私達が存在するために犯した罪があるとすれば、その罪は閻魔様に懺悔することによって許される。

と言うことは…

閻魔様は亡者が生前のおこないを心から認めれば地獄まで救いに来てくれる優しい人なのでは…と自分の中にある先入観（思い込み）に気づかされました。

そして、様々な人との出会いや考え方を知ることによって自分の幅は広がっていき、と感じました。

日常の中で、先入観（思い込み）はたくさんあると思います。

子どもへの先入観（例）

- ★守ってあげないと
- ★弱い ★うるさい
- ★一人じゃ何もできない
- ★大人の言うことを聞くもの etc



しかし、その先入観（思い込み）を前提にせず、相手がそうする理由を聞くことで日常の疑問がスッキリしていきます。

そして何よりいろいろな考え方を知ることができるので幅が広がります。子どもの頭の中にある考えが、大人が思っている以上の考えを持っていることもあります。そんな姿をみると、成長を感じるかもしれません。

閻魔大王の正しい役割（仕事）を知る＝出会えることができたので、子ども達にも閻魔大王の存在についても、【悪行ではなく良い行いをする意味】伝えていきたいと思えます

（ひな子）